



「竹林精舎」釈尊は尼蓮禅河のほとりのウルヴェラー村に行き優楼頻螺迦葉、伽耶迦葉、耶提迦葉の三兄弟及びその弟子千人を教化し、王舎城に入ってマガダ国ピンピサーラ王の帰依を受け蘭陀長者が竹林園を献じたので、王はここに精舎を建てて釈尊を招いた。これを「竹林精舎」という。

願生

三寶寺寺報 第一九〇号
 二〇〇四年十一月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十一 二
 TEL 0463 93 3236
 FAX 0463 93 5452
 購読料加金 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇六一〇五八五三一
 〒 259-1126

anuttapa tika dharma kṣānti 無 生 法 忍

慟哭の夜は明ける。

ここに本願あり

「無生法忍」のうち最も大切なのは「忍」

Kṣāntiの語根 kṣan 耐える、

許すと漢訳される。

菩薩の道「忍んで終に悔い
 じ」

忍には、「生忍」「法忍」

「生忍」他の衆生がこちらに害意を抱いて射ってきたような場合、これを有るがままに受け取る、摂受する心、慈悲忍辱。

「法忍」は、如来の正覚から開顕された正法を摂受する心。

「無生は正法」四聖諦の法の一端である(苦は吹き消される)

世親唯識の心

大海の舟航の如し

大海が向かう舟は、漕ぐ効用(努力)によって進むが、大海に達すると同時に、漕ぐ効用をなくして(無効用)風輪によつて進む。

無効用 anābhoga

自力の努力意識のない、いわば自然法爾の意味。

菩薩の仕事は自行化他

化他は他人を教化・導くこと。仏

心仏智が現れることによつて自然に行われる。

忍

慟哭の夜と大地は

国家國民に慈悲心を

今 目覚めさせ

地球人は共に慟哭し

人類が寄りあはれる

杖を身を支える

生忍の民 大地に杖を突き刺し

立ちあがった

法忍の民 慟哭の闇を切り開き

苦しき民を助けた

今を生きる

三寶寺掲示板 十一月

姉妹、人の命は

はかられない

ものみなすべて

無常であり

無我である

Sister, human life is the unforeseen, everything is transient and egoless.

nuforeseen 予期せぬこと
 transient 無常の
 egoless 無我の